

# ODA

## 沖縄脊髄損傷者連合会

# しゃりん

  

# 81

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211  
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室  
Eメールアドレス [sekiren@proof.ocn.ne.jp](mailto:sekiren@proof.ocn.ne.jp)  
ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

### 新年のご挨拶



沖縄脊髄損傷者連合会  
会長 平田かおり

会員の皆様、並びに関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。

去年は、各種スポーツに携わっている会員の皆様の活躍が素晴らしい年でありました。

6月には、厚生労働大臣杯争奪・第22回車椅子ツインバスケケットボール選手権大会が、地元で優勝！9月には、北京パラリンピックで、又吉清人選手・上与原寛和選手・仲里進選手が、上位入賞！その中でも、車椅子マラソンの上与

原選手が、初の銀メダルを獲得し私達会員並び、沖縄県民に感動と涙と勇気を与えてくれました。本当にお疲れ様でした。障がい者スポーツの理解も深めた事でしょう。

今年、九州ブロック会議が沖縄県であります。役員の皆様関係者の皆様のご協力宜しくお願い致します。

今年も皆様にとり、幸多い年になります様にお祈り致します。

### 県障がい者スポーツ振興協会(仮称)の設立を目指そう！

北京パラリンピック日本代表沖縄県選手と沖縄の障がい者スポーツ振興支援を

目的に広く県民に支援を呼びかけることとして、「北京パラリンピック日本代表沖縄県選手を支援する会」が7月4日発足されています。会長に本会の平田かおり会長、呼びかけ人代表として、儀間光男浦添市長並びに東門美津子沖縄市長、そして、仕掛け役でもある新垣邦男北中城村長に世話を担っていただけていま

会の目標として、「北京パラリンピック」日本代表で、本会の会員でもある、エアーライフルの又吉清人さん(浦添市)、車いす陸上競技の上与那原寛和さん(沖縄市)、車いすラグビーの仲里進さん(浦添市)の3名を資金応援しようということ、今後の沖

縄県障がい者スポーツ振興を図ろうということで、約600万円の支援金を集めることが出来ました。

支援金を受けた3名の活躍は、マスコミ報道でもあるように、上与那原さんのマラソン銀メダルによる「県民栄誉賞」授与等、県民に大きな感動を与えてくれました。今後も新たな障がい者アスリート達の育成を図ることの重要さを改めて感じさせられたことと併せて、沖縄脊髄損傷者連合会の役割の大きさにも認識されました。県民の応援を背に、今後の沖縄県の障がい者スポーツ振興を着実に推進させることを会員一同の協力で行動したいものです。

昨年の沖縄フェニックス

の全国大会優勝やパラリンピック開催と注目が高まったこともあり、「沖縄県障がい者スポーツ振興協会(仮称)」の設立に向け、県行政や県議会でも取り上げられています。この機を活かし、沖縄連が先頭になって設立運動を起こしていきたいと考えますので、皆さんの応援を宜しくお願いします。

報告：仲根健作

### 恒例・沖縄連新年会

去る1月24日(土)18:30、沖縄市にあるピアレ스토랑・ケニーズにて、沖縄連恒例新年会が開催されました。

急な冷え込みで、体調を崩し欠席された仲間も多

かったのですが、15名程の参加者でしたが、新しく沖縄連の会員となられた方も何人かいて、スポーツの話題やお互いの家族の近況などを報告し合い、楽しい時間を過ごすことができました。

報告：上里



### 第20回ぎのわん車いすマラソン大会

息を切らしながらも力強く車いすをこぐ選手と沿道からの大声援。十四日、宜野湾市で開催された第二十回ぎのわん車いすマラソン大会は、曇り空に時折薄日がさす天候の下、熱戦が繰り広げられた。選手それぞれのドラマに、応援団にも



感動が広がった。

強豪がそろうハーフマラソンで一位になった福岡県の山本浩之さん（42）は、左手でガッツポーズしながらゴールした。狙い通りの連覇。「優勝できてよかった。来年は勝負にこだわり、勝ち続けたい」とほっとした様子だった。

五キロの部で一位の金武中一年、城間圭亮君（12）も連覇を果たした。年齢制限で現在は出場できないハーフにも挑戦したいといい「自分の力を試したい」と夢を語った。一・五キロトリム手動の部で一位（一秒差）に輝いた、うるま市の喜久山義明さん（46）は「レース中に一位を予想したが、本当にそうなったのでびっくり」。同

電動の部は糸満市の屋富祖孝子さん（71）が一位（五秒差）。「冷たい風が心地よかった」と笑顔。

沿道の応援団は選手の名前を呼びながら応援。今年三月に卒業した宜野湾市立嘉数中のクラスメート十七人を集め、駆けつけた知花昌也君（16）（美来工科高一年）は「選手の走りはすごく感動する。応援で後押ししたい」と笑顔。トリムの部初出場の那覇市立高良小一年、金城洸太郎君（7）を見守った母の小百合さん（37）は「練習を始めてから、学校でも自分で車いすをこぐようになった」と成長を喜んだ。

沖縄タイムス抜粋  
参加し、各コースを完走し



ていました。

広告(エアー沖縄)

## ウイルチエアーラゲ ビー日本選手権大会

12月19日(金)〜21日(日)に千葉県で第10回ウイルチエアーラゲビー日本選手権大会が行われ、沖縄ハリケーンズが9チーム中4位の成績を残し、仲里進がベストプレイヤーの7名に選ばれました。ただでさえ試合経験が少ないのに、今回は故障者続出で十分な練習も出来なまま大会に挑みました。

緊張と不安で予選リーグが始まりましたが、いざ試合を重ねていくと、本来の力を取り戻し予選リーグBを3戦全勝の1位で通過。次は決勝進出を懸け予選リーグA2位の横濱義塾と対戦。前回沖縄に敗れた横

濱は大きくチーム力を上げ、沖縄対策も万全でした。それを打開できないまま時間は過ぎ試合終了。2年連続決勝進出は成りませんでした。そこで心が折れることなく、気持ちを3位決定戦のHEAT戦に切り替えました。HEAT(大阪)には予選リーグで勝ったものの、同じ西日本で手の内をよく知る相手です。実力は5分5分なので総力戦で3位を狙いにいきませんが、接戦で試合展開を打破できず、逆にミスが響き僅差で敗れました…。尚、決勝は横濱の健闘も空しく王者BLITZ(東京)が4連覇を達成しました。

いつも沖縄ハリケーンズを応援し協力してくれてい

る皆さん、どうもありがとうございます。今後もチーム一丸となって頑張りますので応援宜しくお願いします。

報告：大城



「お知らせ」

事務局では2ヶ月に一回、沖脊連のホームページを更新しています。機関紙しやりんとともに、ホームページもご覧ください。

広告(ちはる歯科)

毎月二十五日発行  
ODA通巻 号外

発行人 沖縄県南風原町字神里六三一 編集人 沖縄県身体障害者福祉協会

編集人

沖縄県那覇市石嶺町四一三七三一西棟2F  
ボランティア小規模団体室・しやりん編集部

上里一之

購読料は会費に含む  
【頒価 二十円】